保健環境組合だより

REPORT No. 12

4

2022Apr.

須賀川地方衛生センター　ごみ処理施設　全景

コロナ禍の感染防止ごみ出しマナー

新型コロナウイルスなどの感染症対策の為、次のとおり、ごみ出しの際のマナーを守ることで感染拡大を防ぎましょう。

1 ごみ袋がいっぱいになる前に早めにごみを出しましょう。

2 ごみに直接触れることの無いよう、袋の口をしっかり縛って出しましょう。

3 ごみを捨てた後は、しっかり手を洗いましょう。

ごみの減量や、円滑で安全な収集・処理のためにも、皆様には引き続き、決められた方法でのごみの排出に、ご協力をお願いいたします。

見学者ホールに設置されている1/60サイズの衛生センターごみ処理施設全体模型

須賀川地方衛生センター最終処分場

主に構成市町村内から収集された可燃ごみを焼却した後の焼却灰と、食器などの再生利用ができない不燃ごみを埋立処理しております。

また、雨水が場内にしみこむことなどで出てくる、排水(浸出水)を安全に放流するために、化学処理等を行い、十分に安全な状態まで処理した上で、放流をおこなっています。

埋立処分地

浸出液処理施設

調整池

下記は令和2年度の最終処分場で実際に処理したごみの種類及び、放流された浸出水の調査値です。

令和2年度一般廃棄物処理施設維持管理状況(最終処分場)

■最終処分量

単位：t

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不燃物	68.14	81.29	73.38	242.75	251.27	224.97	205.01	98.95	255.70	179.19	128.47	127.05	**1936.17**
焼却灰	352.85	180.98	218.61	218.17	246.20	265.01	140.88	268.76	287.50	213.62	146.92	206.43	**2745.93**
飛灰	107.98	56.36	93.76	89.90	117.83	96.16	65.08	112.34	103.22	104.51	71.78	85.98	**1104.90**
浸出液汚泥	3.25	1.78	1.71	3.08	3.49	3.48	3.83	2.99	2.44	1.73	1.98	1.94	**31.70**
し尿残渣等	9.31	8.08	5.81	5.67	6.11	4.44	4.64	6.39	4.32	4.08	3.77	5.20	**67.82**
計	541.53	328.49	393.27	559.57	624.90	594.06	419.44	489.43	653.18	503.13	352.92	426.60	**5886.52**

※火災不燃物は、せともの、コップ等の生活用品

■放流水

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	基準値
採取月日	−	4月3日	5月8日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月5日	−
結果を得た日	−	4月9日	5月15日	6月15日	7月9日	8月28日	9月11日	10月9日	11月16日	12月17日	1月19日	2月15日	3月12日	−
水素イオン	pH	6.9	7.2	7.1	6.9	7.1	6.9	7.0	7.1	7.1	7.1	6.9	7.0	**5.8～8.6**
BOD	mg/ℓ	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5	1.9	1.4	8.5	15	0.5未満	0.5	0.5未満	日平均20最大25
COD	mg/ℓ	4.8	4.3	5.9	6.7	8.0	7.4	7.6	4.9	3.4	2.4	3.5	3.9	日平均20最大25
SS(浮遊物質)	mg/ℓ	1.0未満	1.0未満	4	2	8	3	4	4	1.0未満	1.0未満	1.0未満	1.0未満	日平均50最大70
大腸菌群数	個/㎤	2	0	0	0	14	2	0	4	12	0	0	0	日間平均3000
窒素含有量T-N	mg/ℓ	4.9	7.1	9.7	6.8	7.3	4.3	8.2	8.3	11	17	8.6	6.4	日平均60最大120
塩素イオンCl	mg/ℓ	1.6×10^3	0.44×10^3	1.0×10^3	1.3×10^3	0.75×10^3	1.8×10^3	1.2×10^3	1.4×10^3	1.3×10^3	0.35×10^3	1.8×10^3	1.4×10^3	−

※排水(浸出水)を化学処理等を利用し、十分に安全な状態まで処理した上で、放流する水の調査値

保健環境組合だより No.12 2022 Apr.

須賀川地方保健環境組合
須賀川市森宿字ビワノ首43番地1　TEL.0248-73-4515　FAX.0248-73-4526
http://www.kankyou-sukagawatiho.jp/

須賀川地方衛生センター

ごみ処理施設設備紹介

Equipment introduction

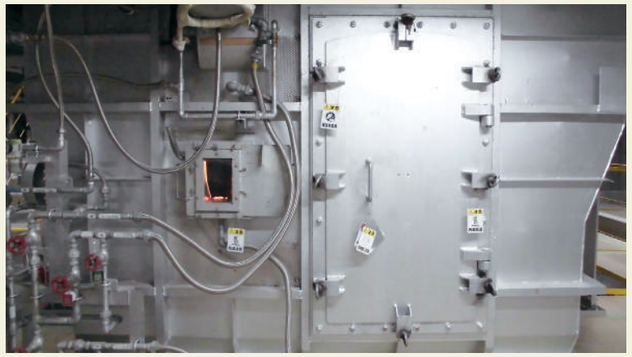
プラットホーム

構成市町村内の可燃ごみを積んだごみ収集車は、まず計量機で重さを量り、プラットホームにてごみを投入扉からごみピットへ投入します。
ダンピングボックスでは、事業所等が直接持ち込んだ可燃ごみを安全にごみピットへ投入します。

ごみピット&ごみクレーン

収集車から投入された可燃ごみは、ごみピットに貯められます。構成市町村のおよそ7日分の可燃ごみを貯めることができます。
ピット内の可燃ごみは、ごみクレーンにより十分に撹拌された後、投入ホッパに投入され、焼却炉で燃やされます。

焼却炉&ボイラー



焼却炉

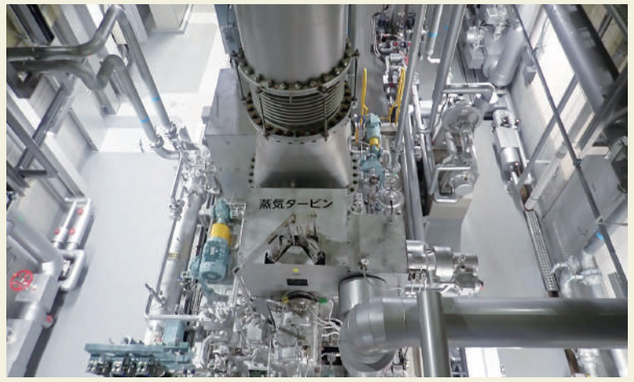
ボイラー

焼却炉内はダイオキシン類の発生を抑えるため、1,000℃以上に保たれており、ごみは燃やされながら火格子(ストーカ)上をゆっくりと移動して灰になります。
ごみを燃やした際に発生する燃焼ガスはボイラーを通ることで、蒸気を発生させ、蒸気タービン発電機で発電を行っています。

ストーカ炉

可動火格子と固定火格子が交互に配置されており、固定火格子の上を可動火格子が往復運動することでごみを前に送っています。

蒸気タービン発電機



ボイラーで発生した蒸気は蒸気タービンに送られ、タービンの羽を回転させることにより発電機を動かし、電気を作っています。
発電能力は最大で1,990kWで、一般家庭約4,900軒分の消費電力を賄えるだけの発電能力があります。発電した電気は、主に施設内で利用しますが、余った場合は電力会社に売電しています。

排ガス処理設備

消石灰・活性炭を吹き込んだ後、2基直列のろ過式集じん器内部にある、ろ布(フィルター)を通過させることで、排ガス中のばいじんや酸性ガスなどの有害物質を取り除きます。そして、無害化した排ガスは誘引通風機を通し煙突から放出します。